



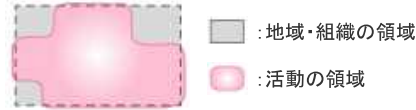
コミュニティの形成

【本要素と市街地類型の関係】

	業務・商業地	住宅地
新規開発地	○	○
既存市街地	○	○

凡例 ○:該当、△:該当する場合あり

【組織・活動の範囲・領域性】



組織の構成員の範囲、活動の範囲ともに明確で、それが一致する。

- ・ 地域がエリアマネジメントに関する活動を展開するための基盤として、地域が地域について話し合い、互いに関心を持てるよう、良好な人的な関係を構築すること。
- ・ 多くの人が地域のことを考え、議論しあえる環境をつくるために、地域のコミュニティを良好かつ活力あるものにすることが重要。

■具体的な活動

- ・ 運動会等のイベント等の地域の交流機会の創出
- ・ 地域の伝統的な行事等の開催・参加
- ・ 防災訓練の実施
- ・ クラブ・サークル活動が行われるような環境整備・マネジメント
- ・ インターネットを活用した地域内の情報交流
- ・ エリア内の組織間のネットワーク形成・調整
- ・ 企業コミュニティの形成

■手法・組織のあり方

- ・ 自治会・町内会、商店街振興組合等の地縁をベースとした組織、まちづくり協議会等の協議組織、建築協定運営委員会、団地管理組合等、地域の住民等が一定以上の割合で参画する組織であれば、コミュニティ形成を地域に働きかけていくことが可能。

■活動のポイント

- ・ 広く意見が集まるような環境の形成

■行政との連携

- ・ コミュニティの活性化等に対して、地方公共団体においては、助成等の支援を行っているところが多いので、地域内で行う活動の重要性、有効性を地域が地方公共団体に示し、適切な支援を受けることが可能となる環境を形成していくことが重要。

エリアマネジメントの要素へ戻る